

## どんな研究？

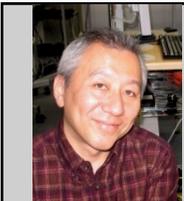
- 遠隔地点や異なる時刻にいるユーザ，サイバー空間中の仮想物体やアバタなどと，自然で知的な協調作業ができるような遠隔ビデオコミュニケーション環境（時空間同室感環境）を目指します

## もたらされる変革

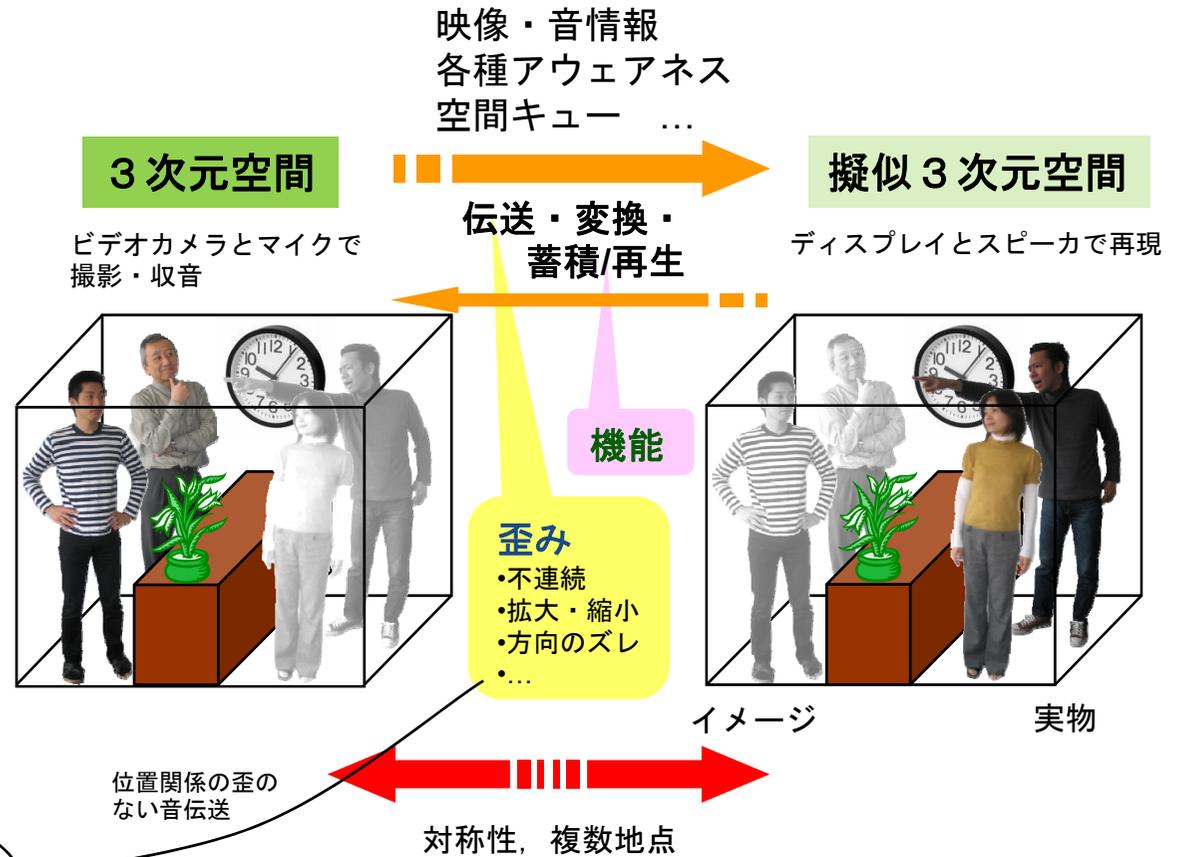
- 常時いつでもこの人とでも同室感ビデオコミュニケーションを実現します
- 時間と空間の相互変換を用いて超人数ビデオコミュニケーションを実現します
- ビデオによるインデクシングを用いて日常の全コミュニケーションを統合する高次コミュニケーション環境を実現します

## 展示紹介

- 大きさや構成の異なるt-Roomを複数台接続し，常に没入している感覚を体験していただきます
- ディスプレイで囲まれた空間内に3次元音響を再現する技術をお見せします
- カメラとLCDを用いて3次元空間を遠隔地に再現する際に生じる「歪み」の影響を調べました



連絡先：平田圭二  
メディア情報研究部  
コミュニケーション環境研究グループ



## 3つのスケーラビリティ：

- ユーザの要求に応じて自由に機能を組み合わせることができること  
時間，空間，音の様々な相互変換，蓄積されたコミュニケーションの様々な方式での再生
- システム規模が大きくなっても効率が低下しないこと  
ユーザ数，カメラ・ディスプレイ台数，地点数，ネットワーク制御，履歴や記録の蓄積量
- 遠隔協調作業に必要な多様なウェアネスを複合的に維持していること  
遠隔協調作業に及ぼす影響の調査，集団で課題に取り組む際のパフォーマンス